

# 幼保小の **架け橋** プログラムだより

このお便りは、横浜市の「架け橋プログラム」の一環として発行しています。面白い子どもの様子が伝わる情報をお伝えしますので、みなさんの取組に生かしてください。

## 〈架け橋期を意識した実践の事例〉



横浜市立恩田小学校

匂いを頼りに給食室へ行くことになりました。



「フランスパンの匂いがした！」

入学直後の1年生の様子です。午前中、給食室から漂ってくるにおい気付いた子どものつぶやきから「給食のにおいはどこから？」という疑問が生まれました。その疑問を解決するために、においをたよりに給食室を探しに行く子どもたちです。

身近な事象に積極的に関わる中で、予想したり、多様なかわりを楽しんだりするようになる幼保の育ちを生かしています。

そのために、子どもの願いに基づく学校探検の単元計画や、願いを聞くための発問(「どうしたい?」「どうしたらいいと思う?」)を大切にしています。(右 informationにある横浜市の研修動画から) 2022.4.13の様子



横浜市岩井保育園



プリンセス・プリンセスごっこを発展させていく子どもたちの様子です。「照明係でプリンセスを照らしたい!」という願いをもった子どもたちが、「どうやったら綺麗に照らすことができるのか」とカラーセロファンやカップを活用し、試行錯誤しながら実験しています。

解決したい課題を立て、解決に向けて粘り強く取り組むことは、小学校のすべての教科等における学習活動につながります。

(右 informationにある横浜市の研修動画から) 2022年の様子

## 〈幼保小の協働〉



横浜市立初音が丘小学校



年度初め、近隣の園の先生が1年生の「なかよしタイム」に参加している様子です。事前にねらいを共有した上で実施しています。

1年生にとっては、朝の楽しみや安心感につながります。小学校の先生にとっては、手立ての幅が広がるなどの効果もあります。園の先生は、入学直後の子どもの様子や教室環境を知ることができるという側面もあります。2022.4

## Information

◆文部科学省から、幼保小の架け橋プログラムの「審議まとめ」が出されました。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chu\\_kyo3/086/index.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chu_kyo3/086/index.html)

推進する方策として6つの方策が示されています。

◆横浜市こども青少年局から、スタートカリキュラム研修動画を配信中です。申し込みをしていただくと、すぐにURLが届きます。

保育・幼児教育関係者→電子申請システム

<https://www.youtube.com/watch?v=FG7USsFWt9A>

市立学校関係者→研修管理システム Leaf

こども青少年局保育・教育支援課

幼保小連携担当

045-671-3731

kd-youhosyo@city.yokohama.jp